

## これまでの提言意見書等に対する対応一覧

時期	項目	内容（提言意見等）	担当課	対応（方針・実績）
H21.9	幼稚園教育の拡大	・幼稚園の3年保育の実施を検討していただきたい。（私立幼稚園との調整が可能などところからでもモデルケースとして）	教育部 教育政策課	<b>実施中</b> モデルケースは実施済み、今後も検討を継続 平成22年4月「周南市就学前児童通園施設の今後の在り方」を策定し、幼稚園と保育所の連携、公立幼稚園の施設集約の手法を視野に入れつつ、公立幼稚園における適切な集団規模の確保等の総合的な検討に取り組みます。特に3年保育はこれまでもモデルケースとして実施してきたが、今後も同様な取り組みを進めます。
H21.9	子育て支援センターの運営	・地域的なバランスを踏まえ、現在10カ所ある子育て支援センターの更なる整備を進めていただきたい。	健康福祉部 こども家庭課	<b>実施予定</b> 平成26年度までに13箇所へ 子育て支援センターは、平成22年3月策定の「周南市こどもプラン」において、平成26年度までに13か所の設置を目標として掲げ、計画しております。
H21.9	子育て支援センターの運営	・子育て支援センターの運営方法や支援内容について、運営者の意識の向上等に努めてもらいたい。	健康福祉部 こども家庭課	<b>取組中</b> 子育て支援センター連絡会議の活用 子育て支援センター連絡会議の中で、施設間の連携等地域子育て支援拠点施設の果たすべき役割を整理し、利用者のニーズを把握し、支援・活動・運営・環境などの質の向上に努めていきます。
H21.9	児童クラブの充実	・全ての学校区において必要な児童が児童クラブを利用できるよう検討してもらいたい。	教育部 生涯学習課	<b>取組中</b> 「放課後子ども教室」の設置拡大等を検討 現在、「放課後等の子ども達の安全で健やかな居場所づくり」を目指し、「放課後児童クラブ」及び「放課後子ども教室」の設置に取り組んでいます。「放課後子ども教室」については、地域の皆様のご支援・ご協力を得て開設しており、その設置拡大を図る中で、引き続きご支援・ご協力をお願いします。
H21.9	児童クラブの充実	・児童クラブの指導員の研修会、交流会等の開催、指導員の入れ替え等による資質の向上に努めてもらいたい。	教育部 生涯学習課	<b>取組中</b> 研修等の改善に努める 研修会等に多くの指導員が参加でき、また入会児童の多様化に伴う課題に対応できるよう研修内容を工夫し、資質の向上に努めます。指導員の配置についても、適材適所に配置するよう考慮いたします。

## これまでの提言意見書等に対する対応一覧

時期	項目	内容（提言意見等）	担当課	対応（方針・実績）
H21.9	子育て支援サービスのPR等	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々なサービスが提供されていることについて、必要な家庭に確実に届くような広報活動を充実していただきたい。</li> </ul>	健康福祉部 こども家庭課	<p><b>実施中</b> 市広報で支援策の紹介を開始</p> <p>これまで様々な媒体で情報提供に努めてきました。今年度は、子育て支援策の紹介を市広報において、シリーズ連載を始めました。今後とも、市民に必要な情報が、迅速かつ正確にわかりやすく提供できるように、あらゆる機会を利用して積極的な広報活動に取り組みます。</p>
H21.9	子育て支援サービスのPR等	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人で悩む親や子どもに対して、気軽に相談や情報交換ができたり、携帯電話やパソコンによる電子メールで相談できるような仕組みについて検討してもらいたい。</li> </ul>	健康福祉部 こども家庭課	<p><b>検討中</b> 気軽に集い相談できる体制整備に努める</p> <p>電子メールは、文章が意図した通りに相手に伝わらない危険性も高く、迅速な対応も難しいのが実情です。しかしながら、今後とも気軽に集い相談できる体制整備に努めます。</p>
H21.9	子育て支援サービスのPR等	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域や企業へ向けた情報発信についても充実させ、横の繋がりに重点を置きながら情報を共有化するシステムを構築していただきたい。</li> </ul>	健康福祉部 こども家庭課	<p><b>取組中</b> 審議会等で情報集約し、電子媒体で情報発信</p> <p>コンパクトで分かりやすく、周南市らしさがアピールできるよう工夫し、ホームページやメールマガジンに力を入れて、お知らせしています。また、企業からの委員を選出しているこども育成支援対策審議会等を通して、子育てサークル活動等の情報集約等を行っています。</p>
H21.9	歩いて回れるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>（徳山駅の）北口広場は、タクシーの待機所やバス停の位置を見直すとともに、駅前ロータリーを2階デッキで結ぶ等、現在の車が中心の広場から人が中心の広場とすることを基本に、歩行者にとって利便性の高い整備を行うなど、歩いて暮らせるまちの実現を図る。</li> </ul>	中心市街地整備課	<p><b>実施予定</b> 基本計画策定済み</p> <p>昨年12月、徳山駅周辺整備基本計画を策定しました。基本計画策定に当たっては、デザイン会議で十分議論し、「徳山駅を中心とした歩いて暮らせる集約型の交流まちづくりの実現」を目指し、交通結節機能の向上と交流拠点としての機能強化を図ることとしています。北口駅前広場の東側には広い歩行者空間を設置し、憩いと潤いの空間を確保するとともに、バスの降車場を広場内に設置するなどして、歩行者にも利便性の高い広場としています。</p>
H21.9	歩いて回れるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>市役所庁舎の建て替え等と連携して駅ビルの機能を考えるなど、駅周辺の集客が高まるように整備する。</li> </ul>	中心市街地整備課	<p><b>検討中</b> 今後検討を予定</p> <p>駅ビルの具体的な施設内容は、今後検討することとしています。基本的な考え方としては、駅ビルは公共施設を中心とし、賑わいを創出できる店舗や飲食店なども配置することとし、集客が高まるものにしていきたい、と考えています。</p>

## これまでの提言意見書等に対する対応一覧

時期	項目	内容（提言意見等）	担当課	対応（方針・実績）
H21.9	歩いて回れるまちづくり	・ 駐車場対策は、市役所や市民館の敷地を活用し、行政機能と駐車場の機能を整備し、ここから商店街や周辺へ散策が出来るような仕組みを検討する。	中心市街地整備課	<b>検討中</b> 今後検討を予定 駐車場は、駅前広場や駅ビルの整備を検討する中で、出来るだけ確保するよう努めてまいりたいと考えています。
H21.9	シニアと子どもに優しいまちづくり	・ 商店街のターゲット顧客をシニア層に設定し、商店街がシニア向け商品の品揃えを充実するまちにする。	中心市街地整備課	<b>取組中</b> 検討協議会で少子高齢化への対応を促す 現在、新たな「中心市街地活性化基本計画」を策定中であるが、少子高齢化が進展していることから、その検討協議会の中で、商業者に高齢者に対応したサービスを充実するよう促していきたいと考えています。
H21.9	シニアと子どもに優しいまちづくり	・ シニアや子どもが利用しやすいよう施設のバリアフリー化を進める。	中心市街地整備課	<b>取組中</b> バリアフリー基本構想等で進行中 平成19年度に策定した「周南市移動等バリアフリー基本構想」に基づき、都市施設のバリアフリー化を現在進めています。また、現在、策定中の「中心市街地活性化基本計画」の中でも、施設のバリアフリー化を進めていくよう計画しています。
H21.9	シニアと子どもに優しいまちづくり	・ シニアと子ども（孫世代）が交流するための拠点、例えば「おばあちゃんの託児所」、「シニアと子供の交流ひろば」などの施設を整備し、弱者であるシニアと子どもが集うまちの実現を図る。	中心市街地整備課	<b>検討中</b> 中心市街地活性化基本計画に基づき対応中 現在策定中の「中心市街地活性化基本計画」においては、「誰もが生き活きと」暮らすことができるまちづくりを進めることとしており、多くの方が幅広く集い、活動し、消費や娯楽、交流等を共有するステージになるように検討していきたいと考えています。

## これまでの提言意見書等に対する対応一覧

時期	項目	内容（提言意見等）	担当課	対応（方針・実績）
H21.9	観光でにぎわうまちづくり	・JR徳山駅から動物園に至る道を基軸として、市街地に点在している観光資源、地域資源を点の資源から線として繋げ、動物園までを結ぶ等、観光ルートや散策ルートとして整備する。	中心市街地整備課	<b>実施中 官民の協働により様々な政策を実施中</b> 周南市観光散策モデルコースマップ「周南探訪とらの巻」2編（熊毛・大津島・徳山編、鹿野・新南陽・湯野編）を平成22年3月に作製し、各公共施設、宿泊施設等に配置しています。 徳山地区タクシー協会により、“周南観光タクシー”が平成22年5月14日にスタートしています。 県の緊急雇用創出事業臨時特例基金補助金で、観光ルート企画事業を実施する予定です。 旅行会社のノウハウを活用し、周南地域の観光地や各ツーリズムを観光素材として組み込んだ着地型旅行商品の開発や現観光ルートの更なるスキルアップを図ります。 「中心市街地活性化基本計画」を策定する中でも、動物園などの集客施設のある文化ゾーンと駅周辺の中心商店街や港との連携が重要であり、ルートの魅力を創出し、連携を強化する整備やソフト事業を考えています。
H21.9	観光でにぎわうまちづくり	・観光・散策マップの作成により、中心市街地から繋がる人の流れを創出する。	中心市街地整備課	
H21.9	観光でにぎわうまちづくり	・「のんた祭り」や「冬のツリー祭り」などの大きなイベントだけでなく、飯島さま、動物園、児玉神社など特徴ある地域資源を使った「まつり」等のイベントを新たに企画し、定期的を開催することにより多くの人が集うまちの実現を図る。	中心市街地整備課	<b>実施中 官民の協働により様々な施策を実施中</b> 平成21年度に、「公・民連携まちづくり委員会」の社会実験事業として、「キャンドルガーデンナイト」など4イベントを実施しました。 『観光資源』は、人、地域という認識の元、地域のコミュニティ及びネットワーク並びに市民活動により、企画実行される特徴ある地域資源を使った「まちおこし行事」を支援し、情報発信することで市内外からの誘客を図り、周南市を訪れる交流人口を増やします。 具体的には、県外・海外への効果的な情報発信のために、観光パンフレットをリニューアル（テーマ別作成、効果的な配置、海外向け）し、インターネットやネットワーク（防府市・出水市・関東・関西）の活用を行います。また、体験型旅行商品の開発と商品化し戦略的な誘客を行い、「しゅうなんツーリズム」を具現化するアクションプランを策定・実行し、推進体制の構築を図ります。

## これまでの提言意見書等に対する対応一覧

時期	項目	内容（提言意見等）	担当課	対応（方針・実績）
H21.9	連携によるまちづくり	・「高専夢広場」のような若者の企画・運営による各種イベントの開催など学生や若者のパワーを活用する。	中心市街地整備課	<b>実施中</b> <u>社会実験を実施、今後も若者の力の活用を検討</u> 中心市街地活性化に向けた社会実験の中でも、徳山高専の学生などの力を借りており、また、今年3月には若者を中心に企画したイベント「街いこ」を開催しました。今後も若者の力の活用について、心がけていきます。
H21.9	連携によるまちづくり	・大学や高専のサテライトカレッジを商店街の中の施設を使って開催する。	中心市街地整備課	<b>実施中</b> <u>高専夢広場にて実施</u> 現在も、ふれあいパーク「街あい」2階の「高専夢ひろば」において、講座など実施されています。
H21.9	連携によるまちづくり	・行政が主体となってマップの作成や新たなまつり・イベントの企画運営を行うのではなく、行政、商店街、その他NPO法人などの民間団体による推進組織を設置し、その中で様々な取り組みを連携して進めていく。	中心市街地整備課	<b>検討中</b> <u>協議会やまちづくり会社の設置について検討中</u> ご提言のような組織づくりは課題の一つとして認識しており、中心市街地活性化協議会やまちづくり会社の設置について検討中です。
H19.9	安心・安全な「子育て対策」	・子育てをサポートする制度として、例えば①育児講座の内容を知ることができるよう、公共施設等に子育て掲示板を設置②親同士が子育てに関する悩みや体験を相互に話す交流場所を定期的に設ける、等により、情報や知識の共有を図ることが必要である。	健康福祉部 こども家庭課	<b>取組中</b> <u>情報提供、相談体制の充実を図る</u> ①育児講座の開催や学習機会の提供については、市ホームページや各支援センターごとに毎月情報紙を発行し、お知らせしています。 ②母子保健事業としての各種相談・学習事業、母子保健推進員等の活動や子育て交流センター・支援センターや「周南市元気こども総合相談センター」における子育て相談等の充実を図り、子育ての相談や学習の場の充実に努めます。
H19.9	出先機関等のあり方	・総合支所・支所の位置付けや機能、バランスのとれた職員の配置など、ニーズにあった組織体制についてご検討いただきたい。早期に出先機関の組織・機構についての検討をお願いしたい。	人事課	<b>取組中</b> <u>H21.4に組織機構整備を実施、今後も検討</u> 厳しい経済情勢と市政への多様なニーズに対応するため、平成21年4月に組織機構を整備し、支所等の出先機関に関しては、市民と行政の協働によるまちづくりの推進を行う市民生活部の所管としました。今後も、出先機関のあり方も含め、行政組織の検討・整備を進めていきます。

## これまでの提言意見書等に対する対応一覧

時期	項目	内容（提言意見等）	担当課	対応（方針・実績）
H19.9	北部地区における常備消防の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>旧徳山地区の北部地域に常備消防としての消防車を配備し、救急と消防を兼ねた施設の充実により住民の安心安全を守れるよう、早急にご検討いただきたい。</li> </ul>	消防本部 消防政策課	<p><b>実施済</b> <u>北消防署北部出張所を開設</u></p> <p>平成22年4月1日より、北消防署北部出張所を開設しました。従来の高規格救急自動車に加えて、消防自動車を配備し、これにより職員も増員配置しました。</p>
H19.9	合併時の未調整項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会に関する補助金の事務のように、未だに旧市町間で考え方にバラツキがあり、未整理・未調整のまま残っているものがある。自治会活動や地域コミュニティなどの市民活動への支援体制の統一を早期に行っていただきたい。</li> </ul>	協働政策課	<p><b>取組中</b> <u>周南市自治会連合会で引き続き対応</u></p> <p>全市的組織である「周南市自治会連合会」の一本化に向けた調整の中で、補助金など差異のある事項の統一について引き続き努力します。</p>
H19.9	新市建設計画の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>「新市建設計画」で多くの事業が挙げられているが、21のリーディングプロジェクトの1つである徳山駅周辺整備をはじめとした優先度の高い事業について、説明責任を明確にするとともに、早期に事業を進めていただきたい。</li> </ul>	企画課	<p><b>実施予定</b> <u>後期基本計画で位置付け</u></p> <p>ほとんどのリーディングプロジェクトについては、まちづくり総合計画の後期基本計画で、重点推進プロジェクトとして5カ年間取り組みます。</p>